



慈光園だより

2013年10月6日発行 第55号
 社会福祉法人 慈光園(0745-52-5001)
 慈光園ホームページ <http://www.jikohen.asm.ne.jp>

《驕ることなく》

介護の質の向上を目指して

社会福祉法人
 慈光園 施設長 内海敏行

平成25年「巳年の夏」は、奈良市で猛暑日(最高気温が35度以上)が20日、真夏日(最高気温が30度以上)が68日で観測史上例を見ない日数であります。熱中症での救急搬送も過去最大であると報じられています。

当慈光園におきましては、熱中症での入院者は「0名」です。

今年4月から8月末までの5カ月間での退所者は9名(平成24年度は29名「12名/5カ月・換算」と25%減少しています。また、利用者の入院日数も著しく減少しています。

これは、嘱託内科医師、歯科医師、精神科医師、並びに皮膚科医師による手厚い訪問診療の影響が著しいです。更に、職員による速やかな「たん吸引」、日本認知症ケア学会・認知症ケア専門士等による「くもん学習療法」、職員等による「口腔ケア」、及び「室内加湿システム等」の良好な環境整備によるものです。

更に、今年、ディサービス事業の拡充のため、浴室脱衣場の拡大整備(床下暖房設置)、理髪室の整備、ナノストバスの導入、保健師による機能訓練の拡充に伴う整備、訓練備品の設置(シェイキングボード、移動式平行棒、ルームマーチ、ニューステップ)、及び土曜日の営業開始による利用者の利便性の拡大を図りながら、南面に「朱雀」、西面に「白虎」の壁画を楽しく配しました。

玄関ホールには《薪ストーブ》を設置しまし

た。地球環境と森林環境の整備を兼ねて、『小さな薪から火を育て、刻々と変化する炎を眺め楽しむ』ことは、古き良き健やか時代を思い浮かべ、心安らかになるようにとの思いです。



また、平成27年度介護基準の改定が報じられています。政権が安定しているため、社会保障審議会の答申が具体的に進むと考えます。特別養護施設への入所基準改定、所得基準による介護料負担割合の改定、及び要支援者のディサービス事業等の利用制限等です。

施設への収益増加施策は報じられていませんが、現状の収益で人件費、環境整備費、利用者使用消耗品、及び施設修繕費の歳出と均衡が保持されています。経営的には『順風満帆』ではありますが、《驕(おご)りは、過信を生む》にならないように職員一同が研鑽して、介護の質のより向上を目指してまいります。

関係各位におかれましては、今後とも園の運営、並びに職員の処遇に対しまして、様々なご支援とご鞭撻を心よりお願い申し上げます。



(朱雀)



(白虎)

平成24年 四季折々の行事

春



観桜

園内の桜の花が満開となる4月。恒例となりました「お花見」を開催しました。満開の桜を観ながら花見弁当に舌づつみを打ち、「とてもきれいだ！」と喜んでおられました。また、天気の良い日には、園内の花見散歩を楽しんでおられました。



春のコンサート

4月13日、関西二期会の中川令子さんら5人でつくる「アンサンブルフィオーレ」と尺八の井上敬一による春のコンサートを開催いたしました。

コンサートは、唱歌メドレーに始まり、井上さんの「北の春」の演奏があり、「青い山脈」ではみんなで歌い盛り上がりました。



講演会

5月15日、旭堂南左衛門を招き、講談を聞く会を開催。講談は初めてという利用者の方も多く、熱心に聞き入っておられました。



文化協会の慰問

大和高田市文化協会の芸能部8グループが、民謡や民踊、新舞踏、南国ムードたっぷりのフラダンスを披露してくださいました。最後に、「炭坑節」を出演者全員で踊りました。



相撲甚句の慰問

けはや相撲甚句会のメンバー10人の方が、6月7日慈光園に慰問に来て下さいました。

それぞれ相撲甚句を披露、利用者を楽しませていただきました。また、元大関・小錦の超ビッグサイズのパンツには、皆さんビックリでした。





七夕祭り

笹竹に願い事を書いた短冊を飾りました。短冊には「みんな仲良く元気で暮らしたい」・「元気になって北海道に旅行したい」・「書を上手に書きたい」などの願いがこめられていました。また、当日は職員たちが手づくりでソーメン流しの準備行い、癒しのBGMを流し利用者さんの接待をしました。利用者さんは、ソーメンに舌つつみをうっておられました。



夏まつり・花火大会



7月12日、大和高田市野口の夏まつりに合わせ慈光園も夏まつりをおこないました。かき氷などの模擬店やカラオケをしたあと園内で花火を楽しみました。各部屋に戻ってからは、野口の花火大会の花火を窓から眺めました。



盆踊り

紅白の幕を張ったやぐらを組み、提灯で飾付をした2階食堂ホールで盆踊りをしました。

この日は、職員も浴衣姿になり高田民踊普及会の踊りに合わせ利用者さんと踊りの輪に入り一緒に楽しみました。輪には入れない利用者さまも、見ているだけでも楽しいと話しておられました。



家族会



10月14日家族会をゆうゆうセンターで開催しました。理事長、植田医師のあいさつに引き続き、内海園長が事業報告をおこない、油谷副園長が今年一年を振り返り、スライドを交えて活動を紹介しました。

た。

場所を慈光園に移し、利用者と家族が一緒になって、昼食後に講談会、相撲甚句、フラダンスを満喫しました。



運動会

10月31日に運動会を開催しました。利用者の皆さまは、赤組と白組に別れ、まず全員での体操からスタート。競技は、「玉入れ」「ボール回し」「シーツでポン」の3競技。皆さん、若かりし頃を思い出して競技に応援に一生懸命頑張っておられました。



節分

職員が袴をまとい鬼の面をかぶった鬼や鬼のぬいぐるみをまとった鬼に扮して登場。利用者さんが「鬼は外、福は内」の掛け声にあわせて豆をまきました。最後にもちをついで皆で楽しく食しました。



力士来園

大阪春場所をひかえ、大和ガス敷地内に部屋を構える鍛山(しころやま)部屋のお相撲さん3人が、元気をとどけに来てくれました。

力士と利用者が握手、互いに元気を交換しました。最後に記念写真を撮って万歳をしました。



クリスマス会・忘年会

25日のクリスマスの日に、忘年会・誕生日会をまとめて祝う催しをしました。クリスマスの歌や懐かしい唱歌を届けていただいたのは、ソリストの中川

令子さんと「ときめき第九」の合唱団長の阪中弘二さん。



掲載させて頂いた以外にも、毎月いろいろな行事を行っています。また、様々な団体がボランティアとして活動いただき、利用者さまの生活に“うるおい”と“豊かさ”を届けて頂いています。

毎月実施行事

- 誕生日会
- 誕生日月外食会
- 出張散髪
- 売店
- 演芸(安来節会)
- 喫茶(喫茶みち)
- おやつ作り(辯天宗奉仕)
- 体操(大和高田市運動普及協議会)
- メガネ修理・調整(メガネのミキ)
- 御詠歌



25年5月より リニューアルしました

個別機能訓練開始

デイサービスに、新たに機能訓練機器を導入し、専従の保健師を配置しました。

この保健師の指導の下、利用者個人の目標に合わせた筋力強化訓練や歩行訓練を行うことで、基礎体力の維持・向上を図ります。このことにより、認知症の症状の進行を緩和させたり、転倒防止、



廃用性症候群による寝たきり、運動不足による関節の痛みなどを防ぎます。



ナノミストバスを導入

ナノミストとは、超微細な水の粒(毛穴より遥かに小さい水粒)のことです。このナノミストを利用したミストバスとフットバスを導入しました。

ミストバスは、お湯につからないから、水圧による体への負担が少なくなります。低温でやわらかく、



全身を包むナノ粒子が、リラックスしながら心地よい汗を出してくれます。入浴後も暖かさが持続、もちろんお肌も水分を



たっぷり含んだ保湿肌になります。また、発汗後はタオルで拭くだけなので、シャワーの必要もありません。

脱衣所・洗面所を改造

浴室の脱衣所、洗面所を広くし、バリアフリー化するとともに床暖房を設置。また、ドライヤー用の洗面台も設置しました。これにより、利用者が気持ち良く入浴することができます。



とびっくす

薪ストーブを設置

赤く揺らめく炎が
“やすらぎを”運んでくれます。

玄関を入った正面に薪ストーブ(暖炉)を設置しました。炎の揺らめきを見ていると、心が和み、何時までも見飽きる事はありません。薪ストーブの横にはナミストフットスパがありますので、フットスパで足を温め赤く揺らめく炎を見ながら心身ともにポ



カポカになります。ご家族様もどうぞご利用ください。

と職員が一丸となって製作に取り組みました。自然豊かな棚田のあるかかしロードには愛らしくユーモラスなかかしが並んでいます。そのなかの慈光園の出品作品は次の3作品です。



大事なお米、食べないで



カラスと柿の木



すずめの会話

「大事なお米、食べないで」と「すずめの会話」の2作品が見事に佳作に入賞しました。

長寿・米寿祝い 市長来園

「敬老の日」を前に大和高田市市長が8月27日、慈光園に来園され、今年百歳を迎えられる方、米寿を迎えられる方の長寿をお祝いされました。

内海園長に引き続き市長からお祝いの言葉を頂きました。そして、市長から、長寿・米寿の皆さまに1人ずつ記念品が贈られ、ご家族と一緒に記念撮影をしました。長寿・米寿の皆さまからは、「嬉しい」「感謝してます」の言葉がありました。

百歳を迎えられたお二人



相澤アキさん
大正2年10月20日生



佐波初枝さん
大正3年3月26日生



明日香村稲淵の棚田の「かかしロード」に今年もデイサービスで製作した「かかし」を出品しました。今年で6回目の参加です。テーマは「田んぼの神様・田んぼの生きもの」、デイサービスの利用者様

省エネルギー化への取り組み

社会福祉法人として、地球温暖化防止に貢献できること
慈光園では、CO₂排出削減にむけて、さまざまな取り組みを行っています

地中熱利用空調システム

無尽蔵の自然エネルギー「地中熱」を有効活用し、気候や外気温度などに左右されることなく冷暖房をより少ない電力で実現するシステムです。年間を通じて安定した熱供給が得られるとともに、光熱費の低減も図れます。

○平成24年度実施

ガスヒートポンプエアコン(GHP)

ガスエンジンで駆動するGHPは、電気式に比べて電気の使用量を大幅に抑えることができるため、夏場の電力需要の3割以上を占める冷房需要を削減できます。

○平成24年度実施

真空ガラス

このガラスは、真空層の効果により優れた断熱性があるため、部屋の内部の温度差が小さくなる。窓際での冷々感が軽減される。冷暖房を切った後も快適性を維持できる。冷暖房など空調エネルギーを大幅に節減できる。不快な結露の発生を大幅に防ぐ。などのメリットがあります。

○平成24年度から実施

室内加湿システム

このシステムは、人が集まる場所での乾燥予防・感染症対策に効果的といわれている加湿を行うための装置です。微細な霧は設備・利用者を濡らすことなく湿度を上昇させます。

○平成23年度実施

LED照明

LEDとは、発光ダイオードの略で、電気エネルギーを直接光に変える半導体チップのこと。従来の白熱電球に比べて、長寿命で低消費電力。水銀を使用しないから環境にいい。など省エネルギーで多くのメリットがあります。

○平成21年度から実施

デマンド監視システム

高圧受電している事業所の基本料金は、過去1年間の30分間の最大需要電力(デマンド値)で決まります。デマンド(需用電力)監視システムは、需用電力を常時監視し、設定値を越える需用電力の発生が予測されるときに警報を出す装置です。

この装置の設定値を低く設定することにより電気基本料金の引き下げに繋げる。

○平成24年度実施

太陽熱利用給湯設備

太陽熱利用給湯設備とは、名前のとおり太陽の熱を利用してお湯をつくる設備のことです。

この設備は、受け取った太陽光エネルギーの変換効率が非常に高く費用対効果に優れており、燃料を必要としないため地球温暖化の原因といわれる二酸化炭素(CO₂)を排出しない、環境にも大変優しい設備です。

○平成25年度実施

太陽光発電システム

建屋の屋上部分に20kw太陽光発電システムを設置、慈光園の一部電力供給を行うことにより温暖化ガス削減を行う。

○平成21年度実施

平成24年度 決算報告 貸借対照表

平成25年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	164,451,799	流動負債	12,273,474
現金預金	64,252,071	未払金	8,458,185
未収金他	100,199,728	預り金他	3,815,289
固定資産	1,451,583,107	固定負債	158,346,300
建物	1,029,993,804	設備資金借入金	117,300,000
構築物	3	退職給与引当金	21,846,300
車両運搬具	9,986,190	その他引当金	19,200,000
器具及び備品	56,095,582	純資産の部	
投資有価証券	100,000,000	基本金	251,273,739
移行時特別積立預金	105,507,528	国庫補助金等特別積立金	566,360,922
積立預金	150,000,000	その他の積立金	413,507,528
		次期繰越活動収支差額	214,272,943
		(うち当期活動収支差額)	1,892,952
資産の部合計	1,616,034,906	負債及び純資産の部計	1,616,034,906

事業活動収支計算書

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日

(単位:円)

事業活動支出	710,550,187	事業活動収入	711,717,262
人件費支出	442,017,513	介護福祉施設介護料収入	538,257,009
直接介護費	100,629,285	居宅介護料収入	39,000,823
一般管理費	66,667,456	短期入所生活介護料収入	61,452,479
利用者負担軽減額	129,568	居宅介護支援介護料収入	6,701,500
減価償却費	78,406,365	その他の事業収入他	2,528,463
引当金繰入	22,700,000	引当金戻入	20,445,900
		国庫補助金等特別積立金取崩額	43,331,088
事業活動外支出	1,880,130	事業活動外収入	2,606,021
借入金利息	1,880,130	借入金利息補助金収入	532,342
		受取利息配当金	1,770,159
		寄附金収入	30,000
		その他の事業活動外収入	273,520
特別支出	44,760,200	特別収入	44,760,186
国庫補助金等特別積立金繰入額	44,760,183	施設整備等補助金収入	44,760,183
固定資産倍局損	17	国庫補助金等特別積立金取崩額	3
当期活動収支差額	1,892,952		
支出計	759,083,469	収入計	759,083,469

編集後記

おかげさまで今回も無事「慈光園だより」の編集を終えることができました。いつもながら、一年間の月日の流れの早さをつくづく感じます。ご利用者の皆さまには、この一年お変わりなくお過ごしいただけたことに感謝するとともに、これからの一年も健やかに過ごしいただき来年も今年同様明るい話題満載の「慈光園だより」にしたいと思っております。最後に、「慈光園だより」の編集にご協力いただいた方々にお礼を申し上げます。 合掌